

「家がいいね」 第127号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2014. 12. 9

「この道しかない」が始まる！

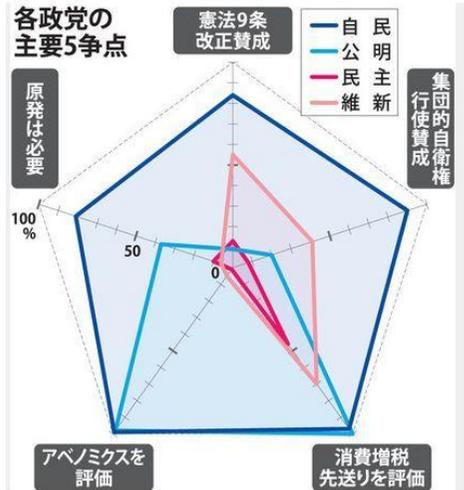
12月8日は73年前に開戦をした日。半年後のミッドウエー（文字通り「中間の」）海戦で大敗した時点で停戦の判断もできずに、多くの国民を死に追いやった、あの道が始まった日です。誰が何を誤ったのかも明らかにされず、戦後の経済成長が団塊世代の成長と共に推し進められました。「赤信号、皆で渡れば怖くない」が合言葉の世代です。皮肉にも2025年の高齢者問題として帰結するのは当然のように思えます。子孫に借金しか残せないのに経済成長を第一にするのは、引き返せない戦争の道と引き換えのような気がします。お手本になる米国が今も戦争経済を推進し、栄えるようにです。



院内報で「なに言ってるの」とお思いでしょうが、秘密保護法が強行可決された1年前から私も言わずにおれなくなりました。（114号参照）「私たちサル以下なの？」と「朝三暮四」の税制に文句を言った54号時は、のどかなものでした。

今も国民に公平な選挙制度ではない

1票の価値に数倍以上の差が意図的に放置されるのは、議員が当選しやすいメリットがあるからです。目的は国会での陣取りにあり、その議員の1票には全く差がないからです。驚いたのは毎日新聞の候補者へのアンケート結果です。自民党は争点を恐ろしいほど統制しています。派閥も個人の意見もなく、首相に逆らわない体制になっているのでしよう。自由な候補者とは言えません。



アベノミクスの評価二分 候補者アンケート

「政府が実権を握る国とは？」

敗戦後も官僚組織は生き延び、「知らしむべからず、依らしむべし」の伝統は続く。政府の頂点は首相であり、官僚は手足となって働く原則です。立法権を任されたらと政府が自己判断し、立法府がこれまでのようにのろろ合意形成をしていたのでは緊急時に対応できないという無能の判定を受け容れた時に独裁は開始される。政府の全能化と立法府の無能化は表裏一体なのです。そして合法的な緊急避難から超法規的独裁制への移行の間にデジタルな境界線はありません。気が付いたら、なし崩し的に民主制が終わっていた。そういうものです。（内田樹、街場の戦争論、ミンマ社）自民党↓安倍首相信任は、この道ではないですか。

インフルエンザには、「注意」にや！

ナースキャップに見えますが実はマスクです。

女の子にみえるでしょうが、実はクリニックと同年齢のおじさん猫です。皆さん、冬です。鼻やノドの乾燥には注意にや。



年末年始のお休み

12月28日(日)～1月4日(日)

この期間も在宅患者さんには、当院医師や看護師が24時間で、相談の連絡に応じます。

「終わりよければ」いせの会

この地域で最期まで暮らすことを話し合います。1月18日(日)午後1時～保健福祉センター四日市三重団地でのライフサポート活動についても、当事者の方の講演を聴きます。参加無料



Ise home care clinic

いせ在宅医療クリニック

自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805

三重県伊勢市御園町高向 927

電話 0596-20-8104

ファクス 0596-20-8105

メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp

ホームページ http://isezaitaku.com